



南風

第216号

発行者
大野城市南地区
コミュニティ
運営協議会
会長 川邊満徳
編集
情報広報部



令和7年度 区対抗ユニカール大会

区対抗成績
1位：つつじヶ丘区 2位：若草区
3位：月の浦区 4位：南ヶ丘1区
5位：牛頸区 6位：南ヶ丘2区
7位：平野台区

チーム戦成績
1位：ひまわり（つつじヶ丘区）
2位：悠々会ホールインワン（牛頸区）
3位：おうし・ひいろパママ連合（牛頸区）



2月15日南地区コミュニティセンターで「区対抗ユニカール大会」が開催されました。各区から4チーム、小学生から高齢者までが参加して熱戦を繰り広げました。
午前は区対抗戦、午後は49チームが参加したチーム対抗戦があり、個々の実力を争いました。子どもたちは元気がつらつ、若者はスピードとパワー、高齢者は熟練と経験、失投もあつたけれど、皆さん対抗戦を楽しんでいました。

受賞 南地区コミュニティ運営協議会
先導的な地域づくり活動を実施し、県の地域振興に大きく貢献した功績で「ふくおか地域づくり活動賞」を地域づくりネットワーク福岡県協議会より受賞しました。（令和八年一月三十一日）
多年にわたり健康運動による健康づくりの推進に尽力した「健康運動推進実践グループ奨励賞」を福岡県より受賞しました。（令和八年二月六日）

令和7年度 各部活動報告

地域振興部

部長 原田 ゆみ子

昨年10月25日に「第2回南つ子すもうフェス」を実施しました。田子ノ浦親方を始め、3人の力士を招き、ちびっ子たちとのふれあい相撲や綱引き、記念撮影、バザーなどのイベントで大いに盛り上がりました。ご協力いただいた皆さまにお礼申し上げます。
また、南地区の今後の移動交通のあり方については、7月に筑紫野市、9月に大刀洗町のデマンドバスの視察研修で試乗を行った他、南地区におけるデマンドバスの導入に向けて、大野城市都市計画課と随時協議を行うなど、昨年度に引き続き、検討を進めました。



環境安全部

部長 後藤 秀夫

環境安全部の活動は、コミュニティの年間催事の準備、会場の安全管理、終了後の片付けが主な役割です。今年もいろんな催事に参加させていただき部員一同感謝しています。
環境安全部の単独の活動としては、まつり南風で来場者へ無料配布している竹炭を今年も作りました。竹は牛頸の高田さんから提供していただいた立派な竹で、今年トラストの炭焼き用の釜がリニューアルされたので短時間で立派な竹炭ができました。短時間とはいえず、日曜の2日間は最低必要でした。

もう一つの単独の活動としては、昨年5月に牛頸山と牛頸川で、それぞれお一人ずつが遭難されてお亡くなりになりました。そこで環境部で何かこのような悲惨な事故が発生しないよう注意喚起ができないものか検討しました。結果、山や川に出かけるときは必ず2人以上で行くよう、市及び県の許可を得て警告の看板を作る事にしました。4月までには設置が完了する予定です。恒例の作業として牛頸ダムの遊歩道の周りに散乱している不法投棄ゴミの回収を3月に行いました。



情報広報部

部長 山元 千津子

南地区の行事や各部の活動など、南地区の皆さまにお伝えする紙面作りをして今年度も10回の「南風」を発行することができました。
より良い紙面作りのために大野城市プロモーション推進課に依頼して、広報紙作りを学ぶ講座を受講し、各部員のスキルアップに努めました。
月2回の会議で毎号の記事選定、写真のレイアウトなど校正編集を行いました。
「南風」でのカレンダー作成が3回目となり好評を得られて楽しく皆で協力し合えたことは、室内での会議ばかりの部としては皆さまとの関わりがあり楽しいイベントとなつてます。
皆さまのご協力ありがとうございました。



いきいき健康教室

1月22日（木）午後1時30分から3時まで、令和7年度の「いきいき健康教室」が旧「久富内科医院」の久富先生の出席も得て開催され、寒中にもかかわらず、なんと103名の方が集まりました。
今回は「冬の季節の健康管理」をテーマに、「食事」「睡眠」「運動」の3つの視点から学びを深めました。
大野城市健康課の出前講座では、免疫力アップに繋がる食事や、睡眠の質を高めるための秘訣を教えてくださいました。
また、誠愛リハビリテーション病院の健康運動指導士の方からは、ちよつとした時間に行える「ついで運動」を教えてくださいました。体はポカポカに。無理なく続けられそうなものばかりで、日常生活にすぐに取り入れられそうです。

最後のコミュニケーションでは、参加者同士が会話を楽しみなが頭も使う笑顔があふれる時間となりました。皆さんの笑顔がとても印象的でした。

